

## 令和3年度第2回徳山高等学校学校運営協議会〔鹿野分校部会〕 記録

日 時 令和3年10月21日(木)午後1時30分から午後3時30分まで

場 所 徳山高等学校鹿野分校会議室

参加学校運営協議会委員

鹿野分校部会委員3名中2名が参加。

学校参加者

校長、副校長、事務長、教頭、学務部長、生徒支援部長、事務主任

会議概要(進行は副校長)

### 1 報告・協議

#### (1) 令和3年度学校の現況及び地域連携の取組状況について

・鹿野分校の学習・進路・生徒指導及び地域連携についての取組状況について説明。

#### (2) 本年度の学校評価書進捗状況について

・昨年度の学校評価書の反省や課題に触れ、今年度の現時点における進捗状況を報告。

#### (3) 取組に対する提言・意見交換

《本日の授業参観の感想》

委員：3年の「国語表現」を観て、自分の時代と違って多様化していると感じた。自分の時代とはかけ離れていて、カルチャーショックを受けた。驚きであった。

委員：参観した2つの授業はいずれも少人数を生かした生徒の実態に合ったものであった。表現力は大切な技量であるが、「回し読み新聞」の作成は表現力を付けさせていく手法としてうまく取り入れられている。改めて表現力の重要性を感じた。

《少人数の中、どういう取組が必要か？》

委員：個人個人の意見をより掘り下げることで、一人ひとりの意見をじっくり聞ける。各人のもつ良いところは認め合い、短所はお互いカバーし合うことで、本人の特性を伸ばす取組をしてほしい。

委員：生徒のコミュニケーション力を高めるための指導はどのようになっているか？

学校：生徒一人ひとりの個性に対応している。小さい学校だからこそそのきめ細やかな指導や支援を行うとともに、家庭との連携を緊密に取りながら進めている。

委員：社会に出て、多くの人と関わることで揉まれることもある。3年間で自己表現できるようになるのはそれほど容易なことではないと思う。徐々に自分の判断で強く生きていける人間になってくれればと思う。地元の諸行事に参加することによって、人間関係を築いていけることもあるのではないか。

《地域連携として地域とどのようなことができるか？》

委員：以前は鹿校祭に地域の方が参加されていた。

委員：鹿野文化祭でのステージ発表として吹奏楽部はいかがか。

委員：コロナの影響で、鹿野市や敬老会等の諸行事が今年度中止になっている。

#### (4) 学校課題に関する協議

《閉校事業について》

学校：記念誌編纂に向けて委員会を立ち上げ、主にワーキンググループで進めている作業の進捗状況を報告。

委員：写真や画像を中心に記念誌を作っていくのがいいと思う。文字は写真の説明程度でよい。

委員：写真の方がわかりやすい。記念誌において歴史がつかめればよいと思う。事務局として、やり易いようにしていただきたい。